

*1校目：ペルー・アレキパ市近郊インデペンデンシア（1995年）

*2校目：ペルー・ハウハ市郊外ワスキーチャ村（1999年）

*3校目：ペルー・クスコ県ピツマルカ郡ウチュジュク村（2005年）

また、日本全国から送っていただいた鉛筆やノートなどの学用品を毎年アンデスの学校へ送り続けています。

2003年からは南米アンデスの恵まれない子供たちへの支援活動を継続して行く為の手段の一つとして、南米アンデスの民族音楽（フォルクローレ）の演奏グループを、毎年8月～12月迄の4か月間、日本に招聘をして、関東以西の各都市でコンサート活動を行い、音楽を通じて日本とアンデスとの文化交流を行っています。

コンサートの収益金や、CD・DVD・民芸品の売り上げの中から支援基金へ積み立てを行い、一定の金額に達した時に、学校建設を中心とした支援を継続して行っているというものです。

また、2013年から新たに開始したプロジェクトがあります。

- ①日本とアンデスとの文化交流を促進するために、日本で活躍しているプロ、アマの音楽家たちをアンデスにお連れして、日本や西洋音楽の演奏会を開催しています。
- ②五線譜を読めない子供たちへの音楽教育の観点から、鍵盤楽器（鍵盤ハーモニカ）を使った教育の開始。
- ③日本で交通事故で子供を亡くされた両親の思いが絵本になった教材を、スペイン語に翻訳した交通安全教育の開始。
- ④日系移民で祖国にも帰ることができない人たちへの支援活動。
- ⑤先進国の臓器移植提供の犠牲になっている子供たちの救済等。

このように限りないほど沢山の問題を抱えながら一つ一つ取り組んでいます。ただ、力の限界を常に感じています。

これまで行ってきた支援活動の経歴と、置かれている現実をありのままに多くの日本の方々にお知らせをして支援の手を差し延べていただくように訴え続けています。

皆さんに関心を持っていただく事が支援活動を力強く進める原動力になります。

次週例会の案内

2月19日(水)は、第63回佐世保RC創立記念日例会です。夜の例会に変更して、18:30よりアイトワで開催いたします。皆様、会場、お時間等、お間違えのないようお願いいたします。皆様のご出席をよろしくお願い致します。

2～3月 例会予定

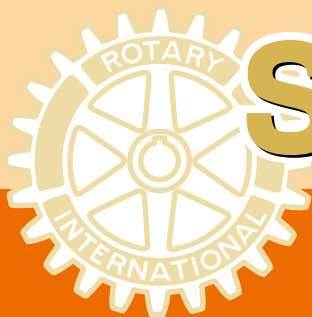
- | | |
|-------|---------------------------|
| 2月26日 | 佐世保青年会議所
理事長 山下 忠則 様 |
| 3月5日 | 新会員卓話 田頭 慎一さん |
| 3月12日 | 財務省 長崎財務事務所
所長 甲木 一也 様 |
| 3月19日 | 料理研究家 脇山 壽子 様
(長崎市在住) |
| 3月26日 | 黒髪山大智院
住職 草津 栄良 様 |

(今週の担当 佐藤 淳)
(カメラ担当 城島 一彦)

クラブ会報・広報委員会

委員長 長富 正博
副委員長 目黒 誠之

委員 大久保利博・城島 一彦
佐藤 淳



SASEBO WEEKLY

会 長:石井 正剛 幹 事:増本 一也
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 26 年 2 月 12 日

第 3,107 回例会

NO 29

《本 日》会員数 76 名 (出席免除会員 23 名)・出席 53 名・免除者欠席 8 名・欠席 15 名・ビジター 0 名・出席率 69.74 %

《前々回》会員数 76 名 (出席免除会員 23 名)・出席 57 名・免除者欠席 8 名・欠席 11 名・メークアップ 11 名・修正出席率 100.00 %

会 長 挨拶

会長 石井 正剛さん

先週から今週にかけて関東・東北地方では、45年とも100年ぶりとも言われる記録的大雪に見舞われました。



記録と言えば、ロシアのリゾート地でもあるソチにてオリンピックが始まりました。こちらでも色々な記録が期待されると同時に、とりそこなったメダルを持ち帰ることができるか、日本人選手のみならず、世界のトップアスリートの華麗なる技を見るのも楽しみです。

そんなオリンピックの日本人選手をも巻き込む様な、ゴーストライター騒動が起こっております。

クラシック音楽の世界では、モーツァルトは真似ることの天才と言われ、他の作曲家のアイデアを一部借用し、それらよりも素晴らしい曲を作り出したと称賛されました。又、音楽家として一番大事な聴覚を失っても、作曲活動を続けた、ベートーベンの「運命」はあまりにも有名です。

今、クラシック音楽とは、いわゆる古典様式の音楽だけを指すのではなく、西洋芸術音楽をクラシックと呼ぶそうです。この世界で、日本人が作曲家として大成するのは至難の業と言われております。

今回のゴーストライター事件は、全聾を

装い他人に作曲を依頼、あたかも現代のベートーベンのごとくに振る舞い、その上爆者であることを利用して自分の地位と名声を得ようとしたものでした。

嘘も方便と言いますが、嘘は自分の為であってはならない、あくまでも相手を傷つけないようにと思う動機があつて初めて許されるものです。

ロータリーの「四つのテスト」と照らし合わせると全く正反対の行為でした。今後の成り行きに注目したいと思います。

また私達は、5つの奉仕部門、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕を念頭に活動しております。

本日は、そんな社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕を实践されております、アンデスの風代表 山崎様のお話をお伺いいたします。

例 会 記 録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 卓話者
(有)アンデスの風 代表 山崎 和幸 様

幹 事 報 告

幹事 増本 一也さん

1. ロータリーの友事務所
代表理事 片岡 信彦さん

2014-2015年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願い

1部 648円 (本体600円/税48円、送料別)
締め切り日 2月25日

2. 第2740地区ガバナー 塩澤 恒雄さん
地区幹事 竹田 健介さん
地区編集長 森 幸雄さん
ガバナー月信 誤掲載についてお詫びと差し替えのお願い
1月号 (VPI 7)

3. 佐世保北RC 会長 緒方 信行さん
創立30周年事業
シドニーオリンピック代表 萩原智子さん
講演会・懇親会ご案内
日時/平成26年3月1日(土)
講演会 17:30~18:20
懇親会 18:30~20:00
会場/セントラルホテル佐世保
(上京町3-2)
会費/5,000円 (1名につき)

4. 西海学園高等学校
校長 菅沼 宏比古様
卒業式のご案内
日時/平成26年2月28日(金) 10:00開式
会場/本校記念館ホール

委員会報告

■出席・例会委員会

委員長 黒木 政純さん

創立記念日例会 出席のお願い

2月19日(水)は18:30よりアイトワにて創立記念日例会となっています。たくさんの方の出席をお願いいたします。



■ローターアクト委員会 大久保利博さん
長崎国際大学RAC
第95回例会、新旧役員交代式及び卒業式のご案内

(2)

日時/平成26年2月23日(日)

受付 13:30~

開式 14:00~16:00

会場/広田地区公民館 2F 講堂
(佐世保市重尾町63番地)

登録料/懇親会費 3,000円

懇親会/18:00~ 会場 調整中

※会場につきましては、後日ご案内いたします。



■資金推進・財団・米山委員会

梅村 良輔さん

幸良秋夫会員より、(財)ロータリー米山記念奨学会へご寄付をいただきました。



雑誌の時間

クラブ会報・広報委員会 城島 一彦さん

ロータリーの友2月号より

「親からもらった大切な体」
を読んで

投稿者の中塚 勉さん(滋賀県守山RC)は、昭和10年生まれの今年80歳(傘寿)を迎えられるロータリアンで、10年前から腰部脊柱管狭窄症や関節症などで4回の手術を受けて現在、身体障害者3級になっているとのこと。

中塚さんは「親からもらった大切な体」を傷つけたことに申し訳ないとの思いから、病に負けないように西国三十三番札所を巡り、今回、四国八十八カ所霊場のお遍路に挑戦され、先日、高野山で満願されたとのこと、親の恩を忘れずに歩いて参拝できたことを喜ばしく感じていると書かれています。

中塚さんは、現在入会30年目で会長・理事・地区委員などを歴任し、現在も役職を気持ちよくこなしているそうで、クラブで生きがいを感じながら元気で生活できることを望むと結ばれています。

不自由な体でお遍路することは、相当の



覚悟と強い意思、それに体力がなければできないことでもあります。

私も昨年秋に入院手術をしてから、以前には考えもしなかった体(健康)への不安を抱くようになり、「親からもらった大切な体」のタイトルに共感し読ませて頂きました。

自分も何時かは、中塚さんのようにお遍路に挑戦したいと思っておりますが、ドクターストップの煙草でさえ止められない意志の弱さでは、到底無理かもしれません。

慶 祝

親睦活動委員会 前田 文智さん

○今月の誕生祝い

- 松瀬 茂雄さん (8日)
- 井手 常博さん (11日)
- 中川 知之さん (11日)
- 佐保 榮さん (12日)
- 土井 弘志さん (12日)
- 梅村 良輔さん (15日)
- 河原 忠徳さん (18日)
- 富永 雅弘さん (28日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 坂元 崇さん

- 石井 正剛会長、増本 一也幹事
- 大神 吉史さん、土井 弘志さん
- 池田 真秀さん、西村 一芳さん
- 吉田 英樹さん、坂元 崇さん

「南米アンデスの子供達への支援活動25年」と題しての、アンデスの風 代表 山崎和幸様の卓話に期待して。

井手 常博さん、佐保 榮さん
梅村 良輔さん、富永 雅弘さん
土井 弘志さん、中川 知之さん
誕生祝いありがとうございます。

坂元 崇さん

先々週の九文女子バレー部、春高バレー全国制覇のニコニコボックスの件で、私の不注意で田中丸善弥さんのお名前を呼び忘れておまして、大変申し訳ございませんでした。反省の意味を込めてニコニコいたします。

◇
ニコニコボックス 本日合計 15,000 円
累 計 676,000 円

卓 話

『南米アンデスの子供達への支援活動25年』

(有)アンデスの風・アンデスの子供たちへの支援基金
代表 山崎 和幸 様



南米アンデスに住む子供たちの中で、学校にも通えない子供がたくさんいることをご存知でしょうか。親に捨てられ、社会から見放され行き場を無くした子供たちは、ごみ屑と同じように人目につかない場所に葬り去られて短い一生を終わってしまっているのです。

1990年、日系で初めて国の元首になったペルー共和国の元大統領アルベルト・フジモリ氏が大統領に就任した年に、「アンデスの子供たちへの支援基金」を設立して具体的な支援活動を開始しました。設立後、日本全国の多くの方々から善意を戴き、これまでに3つの学校建設寄贈を行ってきました。